

令和4年度 学校だより

# 擧

<全戸配布版 11> No. 22

令和5年3月25日  
豊岡市立高橋小学校



このQRコードから学校の  
HPにアクセスできます。

<http://www2.city.toyooka.hyogo.jp/edu/school/takahashi-es/>

## 閉校に寄せて ～高橋小学校閉校式「学校長あいさつ」より～

高橋小学校の閉校にあたり、感謝と惜別の気持ちを込めて、一言ごあいさつを申し上げます。

本校は、昭和43年4月に久畑小学校並びに薬王寺分校及び平田小学校の統合により開校しました。それから平成10年頃まで、児童数は100名前後でしたが、今年度22名をもって、55年間にわたる小学校教育の幕を閉じることとなりました。この間、八百余名の方々がこの学び舎を巣立ち、各方面で活躍しておられます。

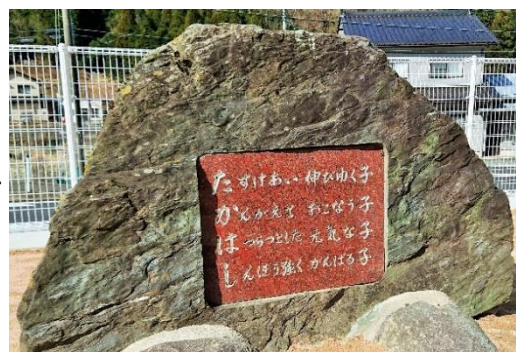
高橋小学校の歴史を顧みますと、開校当時よりへき地教育や基礎学力の向上に熱心に取り組み、平成に入ってから、県指定体験学習研究発表会や但馬小学校特別活動研究大会の会場校として授業公開をしたりするなど、意欲的かつ継続的に教育研究を進めてきました。また、「県土を学ぼう！キッズプロジェクト」や「ぼくらの水辺再発見マップ」など環境教育にも力を入れ、グリーンスクール学校賞県知事表彰を受賞しました。

近年は、米作りやピーマン栽培、町たんけんや生き物調査、高橋振興対策協議会主催のイングリッシュカフェやふるさと探訪など、地域の方々や関係機関の協力による多様な体験活動により、「ふるさと高橋」に愛着をもつ子どもたちがより一層増えました。また、少人数ならではの異年齢集団を生かした活動を通して、上級生は責任感と思いやりが育まれており、下級生は上級生に対して憧れや目標を抱いていると感じます。

このような地域と共にある学校、全校生がつながる学校の教育活動が、新型コロナにより大きな影響を受けました。しかし、子どもたちは元気に学校生活を送り、自分たちで学習を進めていく方法を身に付け、真剣に粘り強く学習したり全校生が仲良く活動したりすることを通して、多くの学びを着実に積み上げていきました。

本年度、子どもたちは高橋小学校が閉校する一抹の寂しさと、新しい学校での学習に向けた希望という二つの思いを胸に、学校生活に全力で取り組み、それぞれに成長した1年でした。閉校記念行事として高橋校区民大運動会で行われた風船飛ばしでは、大空に希望をのせて舞い上がる風船が「新しい学校で学び、未来にはばたく子どもたち」を象徴しているかのようでした。子どもたちが多くの仲間と切磋琢磨し、共にさらなる飛躍をすることを確信しています。

最後になりましたが、これまで長きにわたり本校に御支援を賜りました卒業生・地域の皆様、本校をこれまで支えて来られた歴代の校長先生や教職員、歴代のPTA会長様や役員の皆様、すべての保護者の皆様など、関係者の皆様に衷心より厚くお礼申しあげ、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



校訓